

◆ 令和6年度 オンライン(e-Tax)手続きの利用状況

Q : 国税庁から令和6年のe-Taxの利用状況が公表されたそうですが、どのような内容でしたか？

A : 次のような内容でした。

【解説】

国税庁が公表した令和6年度の報告によると、e-Tax（電子申告・納税システム）を利用した手続きの件数は過去最多を更新しました。特に個人の確定申告では、スマートフォンからの利用が大幅に増加し、全体の約7割を電子申告が占めています。

e-Taxは、税務署に行かずして申告・納税・届出などをインターネット上で行える仕組みです。マイナンバーカードやID・パスワード方式を利用して簡単に手続きができるようになり、利便性が向上しています。国税庁は、操作画面の改良やサポート体制の強化を進めたことが利用拡大につながったと分析しています。

法人の電子申告も着実に浸透しており、提出件数は前年を上回りました。特に中小企業の利用が増え、電子納税や電子帳簿保存制度との連携も進んでいます。

国税庁は今後もe-Taxのさらなる普及を目指し、スマートフォン対応の拡充やマイナポータルとの連携強化を進める方針です。電子申告は、手続きの簡素化やペーパーレス化に加え、ミスの減少や税務処理の迅速化にもつながるとして期待されています。

